

佐倉ばら会通信

Sakura Rose Society



No.
6

2016.April

事務局

住所：〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留 TEL 080-5966-1187 FAX 043-487-1539
URL：<http://rose-society.net> (公式サイト)

佐倉草ぶえの丘バラ園

開園から10周年、世界からも高い評価
ローズガーデンアルバから佐倉草ぶえの丘バラ園へ

【佐倉草ぶえの丘バラ園の歩み】

NPO バラ文化研究所理事長・佐倉ばら会会長 前原 克彦

生涯をバラの研究に捧げ、日本のバラの父と慕われた故鈴木省三氏の遺したオールドローズのコレクションは、世界でも有数のものでした。彼のコレクションを継承し、次代に伝えなければという思いもあり、何人かの有志とともにコレクションの一部を譲り受け、1995年(平成7年)に佐倉市下志津にローズガーデン・アルバを開園しました。当時は原種(野バラ)・オールドローズは日本ではたいへん珍しい存在でした。花の可憐さ、優しさ、姿の優美さ、香りの良さが評判となり、小さなバラ園でしたが、たちまち全国からバラ愛好家の皆さんが訪れるバラ園になりました。原種・オールドローズの収集が進み、収集したバラをすべて植栽するには、アルバでは手狭になってきていました。そこで、これらの貴重なバラを次代に継承するために、佐倉市と協働していくことになりました。

2003年(平成15年)4月に、アルバのすべてのバラを佐倉市に寄贈し、佐倉市の施設である佐倉草ぶえの丘(佐倉市飯野)内にバラ園を設置することが決定しました。そして、1年間の準備期間を経た後、2006年(平成18年)4月29日に佐倉草ぶえの丘バラ園が開園しました。このことにより、貴重な遺伝資源としての原種・オールドローズが、佐倉草ぶえの丘にしっかりと根づき、次代に継承するための拠点を作ることができました。

近年、生物の種の滅亡が問題になっており、生物多様性の重要性が叫ばれています。国連の決議に基づいて、世界バラ会連合(WFRS)では、加盟41カ国が協力して貴重品種の保全に取り組んでいます。日本においても貴重品種選考委員会が設置され、51品種の貴重品種が選定されました。現在、佐倉草ぶえの丘バラ園には、このうち実に50品種が栽培・保存されています。ぜひ、このバラ園に足を運び、ご覧いただければと思います。

なお、2009年(平成21年)に、佐倉草ぶえの丘バラ園は、中国・太倉市のエン・ティエン・ローズガーデンと友好バラ園の関係を結びました。中国はオールドローズの宝庫です。古代からのバラが現存している可能性が高い中国のバラを探し、保存し、後世に伝えていかなくてはならないと思っています。



草ぶえの丘 バラ園入口

アジアで唯一の殿堂入りバラ園と優秀庭園賞

佐倉草ぶえの丘バラ園は、2013年(平成25年)に、アジアで初めて、アメリカのカリフォルニア州サン・マリノ市にある教育研究機関ハンチントン・ライブラリー、アートコレクションズ&ボタニックガーデンズにあるグレートローザリアンズオブザワールド・プログラムから、「殿堂入りバラ園」に選ばれています。殿堂入りの理由は、同バラ園が、バラの歴史の重



最優秀庭園受賞式会場

要性を日本のバラ界に啓発することに多大な貢献をしたこと、そして、ボランティアの力を結集して、貴重品種の収集と保存に偉大な業績を残したこと、さらに、その重要性を、より多くの皆さんに訴えたこと等によるものです。また、2015年(平成27年)5月27日から6月4日まで、フランス・リヨンで開催された世界バラ会連合第17回世界大会で、優秀庭園賞を受賞しています。これは、ガーデンの美しさと魅力、メンテナンスの質の高さ、一般人々への影響力、バラとバラ文化の普及実績等が高く評価されての受賞となったものです。殿堂入りバラ園表彰と、優秀庭園賞のダブル受賞は、アジアで唯一、佐倉草ぶえの丘バラ園だけで、世界からも高い評価を得ています。なお、優秀庭園賞は、これまでに、世界21か国で42か所のバラ園が受賞しています。

前原克彦氏に騎士号が授与 世界バラ会連合 第17回世界大会で

フランス・リヨンで開催された世界バラ会連合第17回世界大会(2015年5月27日～6月4日)で、NPO バラ文化研究所理事長・佐倉ばら会会長の前原克彦氏に、フランス・ボージョレーの騎士団協議会から、コンパニオン・ドゥ・ボージョレーの騎士号が授与されました。今回は、前原氏をはじめ5人の方に授与されましたが、いずれもバラ界の重鎮であり、バラ文化普及の功労者としての功績を高く評価されての授与ということです。

ところで、ブドウとバラの関係は?ということに関してですが、昔から、ブドウ畑の周りには、バラが植えられている場合が多いようです。その理由としては、バラはブドウと同じ病害にかかりやすく、しかもブドウよりも早く病害にかかりやすいという特徴があります。つまり、バラが病害にかかっていないかチェックすることで、ブドウの病害を予防出来るということが言われています。しかし必ずしもそれが確実に証明されているわけではなく、景観として、バラがブドウを守っているような美しい風景を演出する効果もあるようです。いずれにしても、そのようなバラとの深いかわりが、今回の名誉な騎士号授与へと繋がったということのようです。



騎士号の授与式会場



今回受賞の5人の騎士(右端が前原会長)

佐倉草ぶえの丘バラ園へお越しください。

「佐倉草ぶえの丘バラ園」は、後世に残さなければならないヘリテージローズ(原種とオールドローズ)の収集、保存をメインに、世界的にも例の少ないボランティアによって管理、運営されているバラ園です。

敷地面積約11,500平方メートル、植栽品種は約1,050種、植栽本数は約2,500株。園内は、ミスターローズコート、鈴木省三コーナー、世界の原種コーナー、歴史コーナー、アジアの原種コーナー等、15のコーナーに分けられており、博物館的な機能を持った植栽がなされています。また、昔の佐倉の風景をモチーフにし、さらに、来園された皆さんの憩いの場となるように設計されており、バラ園を散策しながら、長いバラの歴史に思いを馳せながら、ヘリテージローズの香りと優しさに触れていただけるバラ園です。また、バラと共に、多くの草花も植栽されており、宿根草を中心に、1年草や球根を組み合わせ、バラとの景観を考慮しながら、白、ピンク、ブルー等淡い色の草花を配しています。園内をゆっくりと散策しながら、季節とともに移り変わるバラと草花との織りなす風景を楽しむことができます。

なお、バラ園資料室には、鈴木家から寄贈された書籍、愛蔵品等、様々な資料を合わせて約9,000点が所蔵されています。



現代バラのルーツ シリーズ⑥

Rosa chinensis

[前原克彦佐倉ばら会会長]による、現代バラのルーツについての連載6回目です。

ロサ・キネンシス (Rosa chinensis) 中国原産

現代バラの誕生に一番貢献したと言えるバラです。17世紀から19世紀にかけ、ヨーロッパ列強はアジア諸国を植民地化しました。そして、陶磁器をはじめ、絹織物やたくさんの有用植物を盛んに本国に送りました。バラも有用植物として収集され、東インド会社を通してヨーロッパに送られました。

これらのバラは、当時フランスで開発された人工交配で交配親として利用され、たくさんの系統のバラが生まれました。これらのロサ・キネンシスは完全に四季咲きであり、この性質が現代バラの誕生につながりました。また、ロサ・キネンシス・センペルフローレンスは濃紅であり、濃いピンクしか存在しなかったヨーロッパのバラに、濃紅ビロード赤色をもたらしました。



ロサ・キネンシス

佐倉草ぶえの丘バラ園 開園10周年記念式典盛況に

2015年(平成27年)6月7日(日)に、佐倉草ぶえの丘体育館で、バラ園開園10周年記念式典が行われました。最初に、主催の佐倉草ぶえの丘指定管理者・アメニス・ブラネット共同事業体小林定男氏から挨拶があり、次に、藤和雄佐倉市長が、「草ぶえの丘バラ園の10周年をお祝いし、バラ園を支えてきていただいたNPOバラ文化研究所の前原会長をはじめ、多くのボランティアの皆さんのご尽力に対し、感謝と敬意を表する次第です。今後は、チューリップのみならず、バラも佐倉の

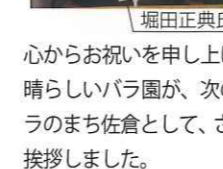


藤和雄佐倉市長

バラということで、多くの皆さんに認識していただけるよう、市としても支援していきたい。このバラ園が、さらに大勢の皆さんに愛されていくことを願っています」と、祝辞を述べられました。次に、佐倉ばら会名誉会長の堀田正典氏が、「バラを愛する多くのボランティアの皆さんの手で支えられてきた草ぶえの丘バラ園が、10周年ということで、

心からお祝いを申し上げます。世界に認められたこの素晴らしいバラ園が、次の世代にも引き継がれていき、バラのまち佐倉として、さらに発展していったらいい」と、挨拶しました。

続いて、NPOバラ文化研究所理事長・佐倉ばら会会長



堀田正典氏



前原会長

の前原克彦氏が、草ぶえの丘バラ園の10年の歩みを紹介。草創期の状況から現在に至るまでを、スライドを使いながら、貴重な体験をも交えて振り返りました。そして、将来への展望として、ヘリテージローズを可能な限り収集し、保存すること、大切な資料を次代に繋ぐため、資料館を作ること、バラの文化を佐倉から、日本から、世界に発信すること、などについての思いを語りました。次に、野村和子 NPO バラ文化研究所副理事長から「佐倉とバラ」と題した記念講演がありました。野村氏は、佐倉とバラの関係を歴史的な観点から考察し、なぜ佐倉なのかについて、日本のバラの父ともいわれる鈴木省三氏がこよなく愛したノイバラの自生地が佐倉にあり、鈴木氏は度々その地を訪れていたこと、進取気鋭の堀田正倫公により、ヨーロッパからバラがもたらされたのではないかと、さらに、明治に入って、文明の最先端と考えられていたバラを、いち早く、栽培したのが佐倉藩の津田仙であったことなど、興味深いお話を披露されました。続いて、バラのまちづくり応援メッセージ等の紹介があり、式典を終了しました。

式典終了後は、会場をバラ園内の芝生広場に移し、ガーデンパーティが開かれました。パーティでは、まず、10周年記念・佐倉市のバラマップづくりイベントのバラの写真応募作品の上位入賞者の表彰があり、続いて水藤晶さんによる電子ピアノの演奏と、マリ BUNKOさんによるシャンソンのガーデンコンサートが行われました。お二人とも、佐倉市在住のアーティストで、素晴らしい演奏と歌声を披露され、パーティを盛り上げていただきました。参加された多くの皆さんも、遅咲きのバラ「ミネハバ」の咲く芝生広場で、それぞれ歓談をされるなかで、親睦を深めていました。



野村和子氏



水藤晶氏



マリBUNKO氏

佐倉ばら会企画事業から

佐倉ばら会 会員の庭園・ガーデンの見学

平成27年5月～11月
佐倉ばら会の会員の庭園・ガーデンの見学として、昨年に引き続き、期間限定で、佐倉市六崎の湯浅宗倫、サダ子氏の庭園、佐倉市石川の小出義雄、啓子氏の庭園(小学館)等、(5月末日まで)、八千代市勝田台北の貝殻リゾートのガーデン、佐倉市木野子の日本サーナのハーブ園を、佐倉ばら会としてご紹介し、会員の皆さんのほか、知り合いの皆さんのご都合のつく日に、見学をしていただくということで、実施いたしました。

サロントーク「バラの歴史は人の歴史とともに」

平成27年7月25日(土)に、佐倉草ぶえの丘研修室で開かれました。講師は、鈴木省三氏に師事されNPO バラ文化研究所副理事長として草ぶえの丘バラ園の運営にも携わり、「オールドローズ花園鑑(小学館)等、多くのバラに関する著書も執筆されている、佐倉ばら会の名誉会員でもある野村和子氏をお迎えしました。今回は、「バラの歴史は人の歴史とともに」をテーマに、バラが人の歴史にどのように関わってきたのかについて、古代から近代に至るまで、ヨーロッパや日本の各種文献に登場するいろいろな薔薇について、プロジェクターを使いながら詳しく解説され、薔薇と人との深い関係について、理解を深めることが出来たサロントークとなりました。



つるバラの誘引講習会

平成28年1月16日(土)・23日(土)
NPO バラ文化研究所とのコラボレーションにより、平成28年1月16日(土)と23日(土)に、佐倉草ぶえの丘バラ園で行われました。冬のバラ剪定は、春に咲く花の位置や、見た目を美しくさせるために必要な作業で、この時期に剪定を行うことで、木が休んで体力を蓄え、春に一気につぼみをつけ、同時に花を咲かせることが出来ます。当日は、参加されたみなさんに、実際に剪定バサミを持っていただき、実際のバラの枝を切ったり、ポールやスクリーンに誘引したり、約1日かけた実習を通して、剪定・誘引の技術を学んでいただきました。



つるバラ誘引講習会

鎌倉文学館バラ園見学と鎌倉ばら会との交流会 日帰りバスツアー 平成27年10月16日(金)

昨年は、群馬県館林市の「ザ・トレジャーガーデン館林」への日帰りバスツアーを行いました。平成27年、10月16日(金)に、鎌倉日帰りバスツアーを実施しました。当初は、午前中に、神奈川県立フラワーセンター大船植物園内のバラ園を見学の予定でしたが、交通事情の関係で日程を変更し、鶴岡八幡宮を見学の後、場所を鎌倉プリンスホテルに移し、今回の日帰りバスツアーのメイン行事である、鎌倉ばら会との交流昼食会を行いました。鎌倉ばら会は、発足60年以上の歴史がある日本でも伝統のあるばら会です。佐倉草ぶえの丘バラ園の開設にあたって、側面的なご協力をいただいています。現会長の金子常郎氏は、日本のヘリテージローズ研究の草分け的存在であり、御尊父は、戦前の「帝国薔薇会」時代からバラ文化の普及、発展に尽力された方です。当日は、鎌倉ばら会から、金子会長のほか、幹事の渡辺治道氏、中村芳子氏の3人が参加されました。交流会では、まず、佐倉ばら会の前原克彦会長から、交流会参加のお礼の言葉があり、続いて、鎌倉ばら会の子会長から同ばら会の概況について説明がありました。金子氏は、「毎年の展示会を中心に活動を展開してきていること、会員同士の切磋琢磨も大切なこと、それらを通して、バラを愛し、心のこもったバラの園芸文化向上のため、今後も諸活動をさらに推進していきたい」と述べました。続いて、佐倉ばら会の岩崎理事から、佐倉ばら会の活動状況の概要について説明があり、乾杯の後、ランチをしながらの交流・親睦会が和やかに行われました。なお、鎌倉ばら会からは、同ばら会の60周年記念誌の贈呈があり、佐倉ばら会からも、これまで発行した佐倉ばら会通信をセットにしてお渡ししました。最後に、両会の今後の一層の連携、協力等を確認し、交流会を終了しました。

午後からは、鎌倉文学館と、同館の庭園内のバラ園を見学しました。鎌倉文学館は、加賀百万石の藩主前田利家の系譜、旧前田伯爵家の別邸。鎌倉ゆかりの文学者の著書、原稿、愛用品等の文学資料を収集保存、展示しています。平成12年3月には、本館が国の登録有形文化財に指定されています。また、庭園の南側のバラ園には、約180種、200株の鎌倉ゆかりの名前のついたバラや、アメリカ、オランダから輸入された外来種のバラが植えられており、参加されたみなさんも、多種多様のバラを鑑賞しながら、午後のひと時をゆっくりと楽しみました。



挨拶する金子会長



鎌倉文学館ばら園

佐倉市との協働事業から

佐倉ばら会では、平成24年度から佐倉市との協働事業により、JR佐倉駅北口前の景観整備事業を担当しています。これは、佐倉市の観光のテーマでもある「花」を生かし、観光客へのおもてなしの心を表現するため、佐倉市の玄関口ともいえるJR佐倉駅北口前の景観の整備を行うもので、平成27年度も引き続き、通常の管理と併せ、刈り込み、草刈り、植物の植え替え等を、年5回(4月・7月・9月・11月・2月)行いました。

また、佐倉市との協働事業ではありませんが、志津コミュニティセンターのミニガーデンの草刈り、植栽等も不定期に実施しました。



志津コミュニティセンターのガーデン



JR佐倉駅前ガーデン

バラの普及事業 ~白井南中学校のバラ花壇整備及びバラ苗の植栽~

佐倉ばら会では、バラの普及事業として、26年度の染井野小学校のバラ花壇整備に引き続き、27年度は、白井南中学校のバラ花壇整備を行いました。

なお、佐倉ばら会では、今後も、この染井野小学校、白井南中学校のバラ花壇整備のように、自ら維持管理をしていただける団体等に対して、花壇造りの助成を行っていく計画です。詳しくは、佐倉ばら会事務局までお問い合わせください。

また、現在、佐倉ばら会では、市内の小・中学校の花壇のバラ剪定作業を実施していますので、会員の皆さんのお近くの学校の剪定作業に、ぜひ参加していただき、会員同士の連携を深めることと併せ、バラの普及事業にも積極的にご参加いただきたいと思います。現在、佐倉ばら会として、バラの剪定作業を実施している学校は、以下のとおりです。会員の皆さんのご協力を、よろしくお願いいたします。

【佐倉地区】・佐倉小・内郷小・佐倉東小・白銀小・佐倉東中

【白井、志津、千代田地区】・白井小・千代田小・下志津小・西志津小・小竹小・青菅小・染井野小・白井南中



白井南中学校のバラ花壇整備

INFORMATION 佐倉ばら会の事業にご参加ください!

佐倉ばら会では、平成28年(2016年)度も、多彩な事業を計画しています。現在計画中の主な事業は、下表のとおりです。詳しくは、正式決定後に、会員の皆様には、個別にご案内を差し上げますので、多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

平成28年度主な事業予定

【協力事業】	【企画事業】	【協働事業等】
<ul style="list-style-type: none"> ・NPOバラ文化研究所関連の28年度事業。5月実施予定の世界バラ会連合・北京地域大会の開催に伴うツアー(NPOバラ研究所主催による国内のバラ園巡り5泊6日のツアー) ●佐倉ばら会としての協力事項 ・通訳ボランティア・ツアーの募集 ・ウェルカムパーティの受付、参加者への対応等 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉ばら会会員の庭園の観賞会(オープンガーデン)の実施。オープンガーデンについては、小出邸、湯浅邸、渡辺邸(新規)、貝殻亭、日本サーナハーブ園を予定。詳細については、会員へ案内状を送付。 ・野村和子氏によるサロントーク(紅茶、ケーキ付き)。 <ul style="list-style-type: none"> ■日時 7月に実施予定 午後2時~4時 ■場所 佐倉草ぶえの丘 資料室 ・日帰りバスツアー 10月下旬~11月初旬に実施予定。 ・つるバラ・木バラ剪定・誘引講習会 平成29年1月中の土曜日の日に、つるバラを、2月中の土曜日の日に、木バラを予定(NPOバラ文化研究所主催の講習会に参加)。 ・バラの普及活動のための事業。 市内の花壇づくりの助成と維持管理。これまでに実施した染井野小学校、白井南中学校の花壇の地元会員等による管理。さらに、今後の実施可能な場所及び協力団体等の検討。 ・会員親睦会の実施。時期は未定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR佐倉駅北口前景観整備事業(佐倉市との協働事業)。植栽及び手入れ(4月・7月・9月・11月・2月)。7月下旬~9月上旬 手入れ(草刈り、水やりを、佐倉ばら会会員、佐倉市(産業振興課)、NPOバラ文化研究所の協力を得て、重点的に実施。8月は草取りのみ。) ・志津コミュニティセンター花壇の維持管理。 佐倉ばら会会員等による植栽及び手入れ(4月・7月・9月・11月・2月)。日常の水やり等は志津コミュニティセンターの管理責任者が実施。



JR佐倉駅北口駅前ガーデンの整備



志津コミュニティセンターのガーデンの整備

以上の事業については、予定ということで、今後、変更になることもありますので、ご了承ください。皆さんも何か事業のアイデアがございましたら、事務局までお知らせいただければ幸いです。

INFORMATION 佐倉ばら会へのお誘い

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力を、お願いいたします。

佐倉ばら会(Sakura Rose Society)は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的に、平成22年(2010年)3月に設立されました。現在、会員を募集中です。正会員の年会費は3,000円、佐倉草ぶえの丘の入場料の割引(通常410円が290円)の特典もあります。詳細については、佐倉ばら会の事務局まで、お気軽にお問い合わせください。



■佐倉ばら会事務局■

〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留
電話:080-5966-1187 FAX:043-487-1539

